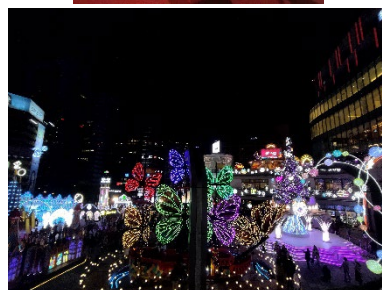


クリスマス

一学期の最後の月になりました。月日が過ぎるのは本当に早いと感じています。12月ということで、街がクリスマスの雰囲気になっています。台湾にクリスマスという文化はもともとないため、あまり特別なことはないよ、と先生から言われました。しかし、街中に行ってみると、大きめのツリーやイルミネーションがあるなど、日本と同じか日本より力を入れているように感じました。台湾は冬に雪が降ることは基本的にないので、街中で人工雪を降らせているところもありました。台湾人は雪へのあこがれがあるそうです。



ルームメイトとの別れ

今学期は、12月25日が退寮日でした。約4か月間一緒に過ごしたルームメイトともお別れです。台湾に来る前は1人部屋がいいなと思っていたのですが、いざ1人になるととても寂しいです。みんなで最後に火鍋を食べに行きました。その時に、みんないつかそれぞれの国に旅行に行くことを約束しました。笑顔でお別れできてよかったです。そして、中国人の子はすぐ帰ってしまいましたが、韓国人とドイツ人の子たちはもう少し台湾にいるようなので、残りの時間を大切にしたいです。

年越し

人生で初めて海外で年越しをしました。台北101の花火が有名だと聞いたので国父記念館という台北101の近くに行ってみることにしました。日付が変わる12時に花火が打ちあがるのですが、21時には場所にスタンバイしていた方がいいと聞いたので、21時頃に行ってみると、すでに多くの人が場所をとっていました。外国人ばかり見に行く

と聞いていたのですが、台湾人の方も多かったように感じます。花火まで3時間ほどあったため、一緒に来ていた友達とゲームをしたりおしゃべりしたりして時間をつぶしました。

打ち上げ3分前くらいになると、みんな立ちはじめカメラの準備を始めました。30秒前になると台北101にカウントダウンの数字が映し出されて、その場にいるみんなでカウントダウンしました。花火自体は5分で短かったですが、花火と周りの景色や雰囲気マッチしていて、とてもいい思い出になりました。花火が終わるとみんなすぐに帰り始めました。余韻には浸らない感じがちょっと面白かったです。

台北101の正面では無料コンサートが行われていました。コンサートと花火が両方楽しめるといことで、かなり多くの人が集まったようです。コンサートには、韓国アイドルのファサさんなどの有名な方が参加したようです。



↑台北101の花火



←帰り道。
台北101付近は道路規制されて歩行者天国になっているため、帰りは車道の上を歩いて地下鉄の駅まで行きました。



←台北101の真ん中辺りに♡の模様が5つ。これは、アプリでメッセージを送ると、ここに表示してもらえるシステムがあるそうです。



台湾では2月に旧正月があるため、1月は1日しか休みではありません。2日から通常営業です。日本でのお正月に慣れているので、新鮮でした。ちなみに今年は龍年で、台湾人が一番好きな干支だそうです。